

牧草と園藝

特集 アルファルファ



暖地の混播草地向き新牧草 寒地の緑肥牧草として

テ ト リ ラ イ ト

札幌研究農場 上 原 昭 雄

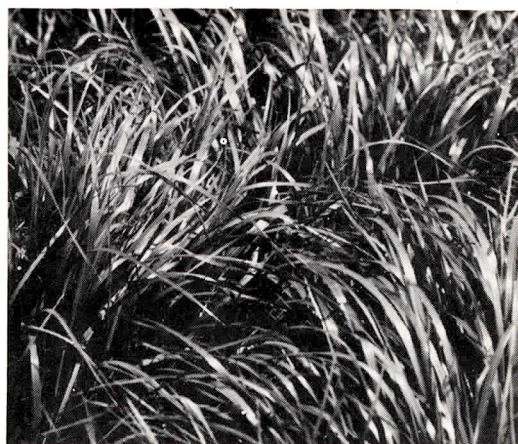
テトリライトはペレニアルライグラスとイタリアンライグラスとの交配種を倍数化したもので、出穂期はマンモスペレニアルとHワンライグラスの中間程度。草姿はやや立性で、マンモスイタリアンのように茎葉巨大・濃緑色であり、ペレニアルのように永続性良好で、両者の特性を合わせ持っている新牧草です（Hワンライグラスの4倍体）。

〈暖地において〉

春播、秋播した場合の生草収量は表のとおりで、いずれの場合もHワンライグラスより30～40%の多収となり、再生力、永続性が良好で多収が得られます。

一般にライグラスは春の生育、再生力は良好ですが、やや早魃に弱く、暖地では夏期高温時に生育が衰え、夏枯状態となります。テトリライトは他のライグラスに比較して病害が少なく、夏枯も極めて少なく、耐暑・耐病性強であります。

また、テトリライトは多回刈が有利で、その上永続性が良好であることは青刈り連続給与に当たり、絶対的な強みとなります。



生育旺盛な新牧草テトリライト

〈寒冷地において〉

東北地方では、積雪期間が110日以上にわたる場合でも越冬できる耐寒性品種で、青森県においても好成績が得られています。

北海道では、主として夏～秋まき緑肥牧草として注目されつつあり、馬鈴薯収穫跡地へのバラまき、早生豆類への畦間播種（落葉1ヵ月前～8月～9月上旬）等により、土壤保全、地力増進の効果が期待されています。

テトリライト及びペレニアルライグラス品種の収量比較

(kg/10a) 〈雪印種苗kk. 千葉研究農場〉

品 種 名	昭 和 46 年 春 播						昭和46年秋播	
	昭 和 46 年		昭 和 47 年		昭和46～47年		昭 和 47 年	
	6 回 刈 合計収量	同左比	8 回 刈 合計収量	同左比	2 カ 年 合計収量	同左比	8 回 刈 合計収量	同左比
テ ト リ ラ イ ト	8,505	155	14,160	124	22,665	134	13,400	134
マンモスペレニアル	6,075	110	11,147	98	17,222	102	10,380	104
ペレニアルライグラス (普通種)	4,950	90	8,920	78	13,870	82	7,990	80
H ワンライグラス	5,500	100	11,430	100	16,930	100	9,990	100